

## 2014年11月～12月のJ-stage アクセスランキング

(対象論文：44巻1号～49巻2号に掲載された総説、原著、速報、技術調査報告、ノート、資料の計178編)

### 上位20位の論文情報

順位	DL	論文種別	タイトル	主著者	巻	頁
1	60	総説	PM2.5の実態解明に向けて-最近の研究と今後の課題-	伏見暁洋	46	84
2	54	原著	Fresh sootと、aged sootは、どちらが気道に沈着しやすいか	梶野瑞王	49	101
3	50	原著	大気エアロゾル中のイオン成分および無機元素成分の粒径別高時間分解能測定	辻昭博	48	82
4	48	技術調査報告	大気汚染物質排出インベントリ-EAGrid2000-Japanの年次更新	福井哲央	49	117
5	47	速報	2013年1月に中国北京市で採取した高濃度PM2.5,PM1の特徴	米持真一	48	140
6	44	技術調査報告	2011年度の連続測定結果に基づく全国的なPM2.5汚染の状況解析	板野泰之	48	154
7	38	速報	ハイボリウム・エアサンプラー用PM2.5インパクター(HVI2.5)の開発	兼保直樹	45	171
8	37	原著	長崎県福江島・福岡県福岡市におけるエアロゾル金属成分の特徴と発生源推定	鈴木亮太	49	15
9	35	技術調査報告	福島県浪江町の里山に大気沈着した放射性セシウムの森林内分布と挙動	黒島碩人	49	93
10	34	技術調査報告	排ガス中のダスト及びPM2.5の連続測定法の検討	丹羽忍	46	233
11	31	原著	エアロゾル質量分析計により沖縄県辺戸岬において観測されたエアロゾル化学組成	三好猛雄	48	1
12	30	総説	“拡散スクラバー法”を用いた大気環境計測技術と空気清浄技術の開発	田中茂	49	69
12	30	原著	九州北部における春季の高濃度PM2.5と長距離輸送	兼保直樹	45	227
14	28	原著	九州北部の離島および大都市部におけるPM2.5濃度の通年での挙動	兼保直樹	46	111
14	28	技術調査報告	ライダー観測によるダストの推定と地上観測によるエアロゾル質量濃度の比較	兼保直樹	47	285
16	27	原著	日本における自動車由来大気汚染物質排出の30年史	神成陽容	48	20
16	27	総説	PM2.5に関する海外動向と測定・モニタリング・成分分析に関する今後の課題	若松伸司	46	77
16	27	総説	微小粒子状物質(PM2.5)の測定	坂本和彦	46	61
16	27	原著	大気汚染予測システム(VENUS)の構築と検証	菅田誠治	46	49
20	26	原著	東アジアから輸送される汚染大気中の炭素質エアロゾルの変動と発生源推定	島田 幸治郎	46	1
20	26	原著	3次元大気シミュレーションによる2005年度日本三大都市圏PM2.5濃度に対する	茶谷聡	46	101

同一IPアドレスからの複数アクセスは1回としてカウントしています。